

## ～嫌われる勇気を読んで～

勇気という言葉でふと思い出しました。

アンパンマンの歌で、『愛と勇気だけが友達さ～～』とあります。

あれ？アンパンマンは実は非常にアドラー的な考え方から生まれた正義のヒーローなのかなと。考察していくと彼自身、あんなにいつもいつも嫌がらせを受けるバイキンマンに対してすら悪口ひとつ言わず、愚痴ひとつ言いませんし、助けた人から見返りを得ようとも思っていません。そして事が起こる時は常にバイキンマンからアンパンマンへ嫌がらせから始まります。アンパンマンからバイキンマンへの攻撃から始まることなど恐らく1度もありません（全て観たわけではないので「恐らく」とさせて頂きました）。

この事から、アンパンマンは助けた人から評価されたくてやっているわけではなく、自分がやりたいから正義のヒーローをやっているだけです、更にあの世界での悪の根源であるバイキンマンを根絶やしにしようとも思っていないのです。自分次第で世の中は変わる、そう強く信じているからこそ、自分の行っていることが自分の幸せに直結していると考えます。物語の最後にはいつも満面の笑みだからです。

自分をの考えを強く持ち、生き方を貫く大きな勇気を持ったヒーローだなと考えました。アンパンマンをアドラーの考えにダブらせると、なんともアンパンマンが素晴らしく大きく感じてきます。

『幸せになる勇気が足りていない』

『人は自分に価値があると思えたときにだけ、勇気を持てる』

『他者が変わるのではなく、変わるのは自分。』

『他者の評価を気にかけず、他者から嫌われることを恐れず、承認されないかもしれないというコストを支払わないか限り、自分の生き方を貫く事はできない。』

私がこの本で好きなエピソードです。

先日社長からのメールのなぞなぞのAさんのような人間になることもできると思いました。嫌われるというのはただ単に人から嫌われるのではないという事も理解できました。私自身勇気をもって嫌われる勇気を持ったアンパンマンのようなAさんになりたいと心から強く願います。

最後に、アンパンマンのエンディングソングにこのようにあります。

『アンパンマンは君さ～、勇気をだして～』

そう、アンパンマンは自分自身です、誰でもなれます。

勇気を強く持とうと決めました。